

平成29年度社会福祉法人ひばり事業報告

1 基本方針及び設置事業所

社会福祉法人ひばり（以下「本法人」という。）は、地域ぐるみの協力により、ご利用者（園児）の自律（立）に向けた多様なサービスを提供し、ご利用者（園児）が「その人らしく」心身ともに充実した生活を送れるよう支援することを基本方針とし、組織体制の整備をはかり平成29年度の事業を実施しました。

尚、事業の実施にあたっては、ご利用者（園児）に良質なサービスを提供出来るように努めました。

設置事業所及び事業種別は次のとおり

(1) ハートピア湘南

就労継続支援B型：定員40名、就労移行支援：定員20名

(2) ハートピア湘南第二(コーヒーポット)、従たる事業所すかいは一と

就労継続支援B型：定員20名

(3) 湘南むぎばたけ

生活介護事業：定員40名

(4) ひばりの宿

共同生活援助：定員24名

共同生活住居：ひばりの宿、ひばりの宿第二、ひばりの宿第三、ひばりの宿六会

(5) 湘南ひばり保育園

保育所：定員140名、一時預かり事業

2 年度目標への取り組み

No	年度目標
1	社会福祉法改正にもとづく、経営組織のガバナンス強化等に努めます。
2	制度改正等を見据えた設置事業所のあり方について検討します。
3	設置事業所の利用定員充足等に努めます。

(1) 社会福祉法改正にもとづく、経営組織のガバナンス強化等に努めます。

ア 経営組織のガバナンス強化に努めました。

イ 事業運営にかかる透明性の向上に努めました。

ウ 財務規律の強化に努めました。

(2) 制度改正等を見据えた設置事業所のあり方について検討します。

- ア 障害者総合支援法改正による設置事業所のあり方を検討し、実施しました。
- イ 新たな保育指針による保育所のあり方を検討し、実施しました。

(3) 設置事業所の利用定員充足等に努めます。

- ア 設置事業所の特色ある取り組みを推進しました。
- イ 広報活動に努めました。
- ウ 関係機関等との連携・情報交換などを行いました。
- エ 行政と連携しました。
- オ 障害福祉サービス事業所の利用率向上に努めました。

3 年度計画の取り組み

(1) 理事会の開催状況

	開催日	議 題	
第1回	6月6日	1号議案	平成28年度事業報告(案)について
		2号議案	平成28年度決算(案)について
		3号議案	積立金積立(案)について
		4号議案	資格取得補助規程について
		5号議案	役員候補者の推薦案について
第2回	6月21日	1号議案	理事長の選任について
		2号議案	副理事長の選任について
第3回	9月22日	1号議案	保育園新設計画について
		2号議案	平成29年度中間事業報告について
第4回	11月28日	1号議案	平成29年度中間事業報告について
		2号議案	平成29年度中間会計報告について
		3号議案	第一次補正予算案について
第5回	3月22日	1号議案	ハートピア湘南が実施する就労移行支援の定員変更について
		2号議案	ハートピア湘南就労定着支援の実施について
		3号議案	社会福祉法人ひばり平成30年度事業計画(案)について
		4号議案	平成30年度資金収支予算書(案)について

	開催日	議 題	
第 5 回	3月22日	5号議案	無期契約職員就業規則について
		6号議案	育児・介護休業等に関する規程について

(2) 評議員会等の開催状況

	開催日	議題等	
定 時 評 議 員 会	6月21日	1号議案	平成28年度事業報告の承認について
		2号議案	平成28年度決算の承認について
		3号議案	理事及び監事の選任について
説 明 会	3月30日	説明1	平成30年度事業計画について
		説明2	平成30年度予算について

(3) 経営基盤の強化

- ア 平成29年度の資金収支予算については、別掲します。
- イ 設置事業所の編成について検討しました。
- ウ 新規契約者の獲得に努めました。
- エ 職員配置や職員採用の枠組みについて検討しました。
- オ 助成団体等の助成制度を有効に活用しました。

(4) 事業所の運営

- ア 本法人の経営する事業所が、ご利用者（園児）に良質なサービスを提供出来るよう努めました。
- イ ISO9001:2015の規格による品質マネジメントシステムの活用により、より良いサービスの提供に努めました。※認証範囲：ハートピア湘南、ハートピア湘南第二
- ウ その他、事業所運営については、各事業所事業報告により掲載します。

(5) 情報の開示

- ア 本法人の情報をホームページに掲載しました。
- イ 本法人機関紙を発行し、関係機関・団体及び地域に配布しました。
- ウ 苦情解決の結果について公表しました。
- エ 本法人ホームページの活用により事業所等の情報を公表しました。

(6) 地域とのネットワーク

- ア 地域における公益的な取り組みについて検討しました。

- イ 本法人が地域の福祉資源として活用されるよう努めました。
- ウ 地域との交流により、障がいのある人や園児、その家族等が、地域で暮らしやすい環境づくりを推進しました。
- エ 行政や他の社会福祉法人、他の福祉サービス提供事業所との連携をはかり、必要に応じて役員、職員を派遣しました。
- オ 地域主催の行事に参加しました。

以 上